



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月25日

上場会社名 JCRファーマ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4552 URL http://www.jcrpharm.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 芦田 信  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 葉口 明宏 TEL 0797(32)8591  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月13日 配当支払開始予定日 2018年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	10,275	0.9	1,945	△20.5	2,006	△18.7	1,377	△26.8
2018年3月期第2四半期	10,187	19.4	2,447	78.5	2,469	81.2	1,881	84.1

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 1,577百万円 (△18.2%) 2018年3月期第2四半期 1,929百万円 (136.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	44.76	44.50
2018年3月期第2四半期	59.85	59.49

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
2019年3月期第2四半期	39,305	28,688	28,688	28,688	71.8	71.8
2018年3月期	38,398	27,528	27,528	27,528	70.3	70.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 28,205百万円 2018年3月期 26,999百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
2019年3月期	—	13.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,900	6.3	4,290	13.3	4,360	13.4	3,200	4.2	104.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	32,421,577株	2018年3月期	32,421,577株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	1,632,131株	2018年3月期	1,665,930株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	30,775,414株	2018年3月期2Q	31,444,365株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
3. その他	10
研究開発品目	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間の概況は次のとおりであります。

営業面におきましては、主力製品である遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤「グロウジェクト®」は、薬価の引下げがありましたが、販売数量の増加により売上高は伸長し58億45百万円（前年同期比2億43百万円増）となりました。また、遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤「エポエチンアルファBS注JCR」および再生医療等製品「テムセル®HS注」も順調に売上高が伸長し、売上高はそれぞれ、21億66百万円（前年同期比68百万円増）、9億89百万円（前年同期比4億3百万円増）となりました。また、契約金収入は下期に計上予定であった契約金収入の一部が当第2四半期に計上され10億54百万円（前年同期比5億70百万円減）となりました。これらの結果、医薬品事業の売上高は100億83百万円（前年同期比1億32百万円増）となり、医療用・研究用機器事業の売上高1億92百万円（前年同期比44百万円減）を合わせた当社グループ全体の売上高は102億75百万円（前年同期比88百万円増）となりました。

利益面におきましては、契約金収入が前年同期比減収となった影響などにより売上総利益が72億80百万円（前年同期比2億27百万円減）となりました。また、効率的な経営をおこなっておりますが、研究開発費18億24百万円（前年同期比12百万円増）を含む販売費及び一般管理費の増加（前年同期比2億74百万円増）により、営業利益は19億45百万円（前年同期比5億2百万円減）、経常利益は20億6百万円（前年同期比4億63百万円減）となりました。また、医療用・研究用機器事業において一部製品の自主回収を行うことによる費用予想額1億74百万円を特別損失に計上した影響を受けており、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億77百万円（前年同期比5億4百万円減）となりました。

研究開発面におきましては、本年7月から成長ホルモン製剤「グロウジェクト®」の効能追加としてSHOX異常症患者に対する第Ⅲ相臨床試験を開始いたしました。また、本年9月28日付で、キッセイ薬品工業株式会社と共同開発中の持続型赤血球造血刺激因子製剤ダルベポエチンアルファのバイオ後続品（開発番号：JR-131）の製造販売承認申請をおこないました。そして、今後重点的に取り組んでいくライソゾーム病治療薬の開発では、国産初となるライソゾーム病治療酵素製剤として、本年9月21日付でファブリー病治療酵素製剤「アガルシダーゼ ベータBS点滴静注『JCR』」（開発番号：JR-051）の製造販売承認を取得いたしました。現在、独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo®」を適用した画期的な新薬の開発をおこなっており、血液脳関門通過型ハンター症候群治療酵素製剤（開発番号：JR-141）のブラジル連邦共和国での第Ⅱ相臨床試験を本年6月に開始し、日本での第Ⅲ相臨床試験は8月から開始いたしました。これに続いて「J-Brain Cargo®」を適用した新薬として、本年9月にサンフィリップ症候群A型治療酵素製剤（開発番号：JR-441）の開発を着手し、ポンペ病治療酵素製剤（開発番号：JR-162）、ハーラー症候群治療酵素製剤（開発番号：JR-171）を含む15種類のライソゾーム病治療薬の開発を順次おこなってまいります。これらライソゾーム病治療酵素製剤はいずれもグローバル展開を検討しており、アメリカ合衆国での臨床開発は、本年1月に株式会社メディカルホールディングスとアメリカ合衆国に合弁で設立しましたJCR USA, Inc. で進めてまいります。また、細胞・再生医療分野では、他家（同種）歯髄由来幹細胞（DPC）を用いた、急性期脳梗塞を適応症とする再生医療等製品（開発番号：JTR-161）の共同開発契約および実施許諾契約を昨年7月に帝人株式会社と締結し、本年10月から第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験を開始しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は393億5百万円（前連結会計年度末比9億6百万円増）、負債合計は106億17百万円（前連結会計年度末比2億52百万円減）、純資産合計は286億88百万円（前連結会計年度末比11億59百万円増）となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金およびたな卸資産が減少した一方で現金及び預金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ13億17百万円増加して241億48百万円となりました。固定資産につきましては、有形固定資産が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ4億10百万円減少して151億56百万円となりました。

流動負債は、短期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ4億10百万円増加して75億15百万円となりました。固定負債は、長期借入金および長期リース債務が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ6億63百万円減少して31億1百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払いが生じた一方で四半期純利益を計上したことにより、前連結会計年度末に比べ11億59百万円増加して286億88百万円となりました。

これらの結果、第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.5ポイント上昇して71.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ23億8百万円増加して71億58百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況および主要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、23億72百万円（前年同期比5億42百万円の収入増）となりました。これは主に、法人税等の支払額7億92百万円があった一方で、税金等調整前当期純利益の計上額18億55百万円、減価償却費の計上額6億42百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、3億35百万円（前年同期比17億43百万円の収入増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出2億76百万円があった一方で、有価証券の売却及び償還による収入6億11百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は4億32百万円（前年同期比10億79百万円の支出減）となりました。これは主に、短期借入金の純増額3億円があった一方で、長期借入金の返済による支出2億13百万円、配当金の支払額4億32百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本年9月27日付でお知らせいたしましたとおり、当第2四半期累計期間におきましては、遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤「グロウジェクト®」等の主力製品の販売が当初予想を上回ったことに加え、第3四半期以降に見込んでおりました契約金収入の一部が当第2四半期累計期間において実現したことにより、当第2四半期累計期間の売上高および利益は当初予想を上回る結果となりました。

2019年3月期の業績予想に関しましては、本年5月11日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありませんが、今後の業績推移に応じて修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。通期の業績予想は次のとおりであります。

2019年3月期通期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	21,900	4,290	4,360	3,200	104.05

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,895	7,203
受取手形及び売掛金	7,103	6,640
有価証券	1,217	851
商品及び製品	1,759	1,834
仕掛品	1,790	2,119
原材料及び貯蔵品	5,474	4,900
その他	592	599
流動資産合計	22,831	24,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,755	4,614
土地	3,882	3,882
建設仮勘定	-	31
その他（純額）	2,215	2,006
有形固定資産合計	10,853	10,534
無形固定資産	112	99
投資その他の資産		
投資有価証券	3,194	3,227
その他	1,429	1,320
貸倒引当金	△22	△24
投資その他の資産合計	4,600	4,522
固定資産合計	15,567	15,156
資産合計	38,398	39,305
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	585	590
短期借入金	2,893	3,530
未払法人税等	887	646
賞与引当金	560	708
役員賞与引当金	80	40
その他	2,097	1,999
流動負債合計	7,105	7,515
固定負債		
長期借入金	2,500	1,950
債務保証損失引当金	315	258
退職給付に係る負債	641	674
その他	307	218
固定負債合計	3,764	3,101
負債合計	10,870	10,617

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	10,947	10,930
利益剰余金	10,469	11,414
自己株式	△4,042	△3,960
株主資本合計	26,435	27,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	462	653
為替換算調整勘定	169	163
退職給付に係る調整累計額	△67	△57
その他の包括利益累計額合計	563	758
新株予約権	344	293
非支配株主持分	185	189
純資産合計	27,528	28,688
負債純資産合計	38,398	39,305

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	10,187	10,275
売上原価	2,679	2,995
売上総利益	7,508	7,280
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	5,060	5,335
営業利益	2,447	1,945
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	14	14
為替差益	7	39
その他	10	12
営業外収益合計	42	77
営業外費用		
支払利息	12	11
その他	6	5
営業外費用合計	19	16
経常利益	2,469	2,006
特別利益		
債務保証損失引当金戻入額	9	56
その他	0	6
特別利益合計	10	63
特別損失		
固定資産処分損	1	37
自主回収関連損失	-	174
その他	-	2
特別損失合計	1	214
税金等調整前四半期純利益	2,478	1,855
法人税、住民税及び事業税	712	552
法人税等調整額	△116	△71
法人税等合計	596	481
四半期純利益	1,881	1,374
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,881	1,377



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	1,881	1,374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	190
為替換算調整勘定	△6	1
退職給付に係る調整額	21	10
その他の包括利益合計	47	203
四半期包括利益	1,929	1,577
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,928	1,573
非支配株主に係る四半期包括利益	0	4

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,478	1,855
減価償却費	652	642
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△9	△56
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	28	△2
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	20	52
賞与引当金の増減額 (△は減少)	109	147
株式報酬費用	77	-
受取利息及び受取配当金	△24	△26
支払利息	12	11
為替差損益 (△は益)	△2	△36
売上債権の増減額 (△は増加)	△693	462
未収入金の増減額 (△は増加)	268	76
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,417	115
仕入債務の増減額 (△は減少)	18	4
未払金の増減額 (△は減少)	70	△84
未払消費税等の増減額 (△は減少)	126	△51
その他	53	39
小計	1,770	3,148
利息及び配当金の受取額	24	27
利息の支払額	△12	△10
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	48	△792
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,830	2,372
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△611	-
有価証券の売却及び償還による収入	-	611
有形固定資産の取得による支出	△310	△276
投資有価証券の取得による支出	△448	△0
その他	△37	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,407	335
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,600	300
長期借入金の返済による支出	△16	△213
リース債務の返済による支出	△105	△100
自己株式の純増減額 (△は増加)	△2,609	14
配当金の支払額	△379	△432
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,511	△432
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	31
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,087	2,308
現金及び現金同等物の期首残高	5,464	4,850
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,377	7,158

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

### 3. その他

研究開発品目

遺伝子組換え医薬品

開発番号 (一般名)	開発段階	適応症等	備考
J R - 0 5 1 (遺伝子組換え α-ガラクトシダーゼA)	製造販売承認 取得	ファブリー病 (ライソゾーム病)	酵素補充療法 バイオ後続品
J R - 1 4 1 (血液脳関門通過型遺伝子組換え イズロン酸-2-スルファターゼ)	日本： 臨床第Ⅲ相試験 ブラジル： 臨床第Ⅱ相試験	ハンター症候群 (ライソゾーム病)	酵素補充療法 「J-Brain Cargo®」採用
J R - 1 6 2 (J-Brain Cargo®適用遺伝子組換え 酸性α-グルコシダーゼ)	前臨床	ポンペ病 (ライソゾーム病)	酵素補充療法 「J-Brain Cargo®」採用 「J-MIG System®」採用
J R - 1 7 1 (血液脳関門通過型遺伝子組換え α-L-イズロニダーゼ)	前臨床	ハーラー症候群 (ライソゾーム病)	酵素補充療法 「J-Brain Cargo®」採用 「J-MIG System®」採用
J R - 4 4 1 (血液脳関門通過型遺伝子組換え ヘパランN-スルファターゼ)	前臨床	サンフィリップ症候群 A型 (ライソゾーム病)	酵素補充療法 「J-Brain Cargo®」採用 「J-MIG System®」採用
J R - 1 3 1 (遺伝子組換えダルベポエチン)	製造販売承認 申請中	腎性貧血	キッセイ薬品工業㈱と共同開発 バイオ後続品
J R - 4 0 1 X (遺伝子組換えソマトロピン)	臨床第Ⅲ相試験	SHOX異常症	グロウジェクト®適応追加
J R - 1 4 2 (遺伝子組換え持続型成長ホルモン)	前臨床	成長障害	持続型成長ホルモン製剤 「J-MIG System®」採用
J R - 0 4 1 (遺伝子組換え卵胞刺激ホルモン)	臨床第Ⅰ /Ⅱ相試験	不妊治療	あすか製薬㈱に導出

再生医療等製品

開発番号 (一般名)	開発段階	適応症等	備考
J T R - 1 6 1 / J R - 1 6 1 (ヒト歯髄由来幹細胞)	臨床第Ⅰ /Ⅱ相試験	急性期脳梗塞	帝人㈱と共同開発